

学校関係者評価 報告書

～令和元年度～

学校法人 日本航空学園

(専) 日本航空大学校

1 学校関係者評価委員会の目的

学校関係者評価委員会は、日本航空大学校（以下「本校」と略す）の運営状況（教育理念・目標、教育活動の現状や課題、経営状況、社会貢献など）について学校関係者より意見を聞き、その評価に基づき学校運営の組織的、継続的な改善に取り組むことを目的とする。

2 学校関係者評価委員会委員名簿

| 規定第2条（構成） | 所属 | 名前（敬称略） |
|---------------|------------------------------------|---------|
| 専門分野における業界関係者 | 株式会社第一システム エンジニアリング 企画管理室 課長 | 宮本 武志 |
| 専門分野における業界関係者 | 石川県工業試験場 博士（工学） 電子情報部 部長 | 前川 満良 |
| 保護者 | 学校法人 日本航空学園 雄飛会輪島会長 | 松下 直子 |
| 地域の公共団体等の関係者 | 能登空港 ターミナルビル株式会社 代表取締役専務 | 前田 正彦 |
| 地方の公共団体等の関係者 | 輪島市企画振興部 部長 広域行政連絡室 室長 | 山下 博之 |

3 学校関係者評価委員会

日 時：令和3年3月25日（木）10:00～11:30

場 所：（専）日本航空大学校 応接室 および オンライン

出席者：学校関係者評価委員会、及び本校事務局側教職員

4 評価対象期間

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

5 学校関係者評価委員会次第

(1) 開会

浅川学長より挨拶

(2) 出席者確認

各委員 挨拶

(3) 資料確認

評価委員会次第、委員名簿、

日本航空大学校 自己評価・自己点検集計表

(4) 議題

第1号議案 「令和元年度 自己評価報告書」説明および評価

学校関係者評価委員による評価は、令和元年度自己評価の項目ごとに
教務部から説明を行い、各委員から評価・意見をいただいた。

（詳細別途）

第2号議案 令和2年度 産学協同教育の実施報告

産学協同教育の説明

第3号議案 その他

「令和元年度 自己評価報告書」説明及び評価

学校関係者評価委員会における評価

評価は、4～1の点数で記載します。

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(評価点数は委員の平均値を掲載)

★1. 教育理念・目標

評価 3.6

- ・課題意見「学校の将来構想はニーズに向かっているが、社会の変化が速すぎる」
→新型コロナウイルス感染対策におけるオンライン授業に対応するため、パソコンおよびWEBカメラの準備、教育資料の作成を実施した。
- ・学校の将来構想について
→令和3年度から航空工学科4年制でのドローン教育を実施していく。
→操縦科については、能登で事業用操縦士の資格を取れるように、使用事業を取得する申請をしている。

★2. 学校運営

評価 3.4

- ・課題意見「教員の勤怠管理や学生の出席簿等、ペーパーレス化できていない」
→学生の出席簿は令和3年度より「BLEND」を導入した。
→教員の勤怠管理は引き続き台帳を使用する。
- ・課題意見「教員不足が著しく見受けられる」
→航空整備士の教員が不足している。

✪ 3. 教育活動

評価 3.6

- ・評価項目「カリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか」
→実施している。
- ・課題意見「関連業界との連携が少ない」
→航空工学科の教育では連携している。他の学科では、企業のベテラン社員による技術教育をオンラインで実施することを検討していく。

✪ 4. 学修成果

評価 3.5

- ・課題意見「コロナウイルスの影響で就職の難度、退学率が向上する恐れがある」
→航空ビジネス科については、ホテルや電鉄アテンダントにも就職をしている。あとは商社関係などを開拓している。退学者については、医療系に進路変更した事例がある。
→航空工学科、航空整備技術科、航空整備科ヘリコプター課程は、影響を受けず堅調である。航空機設計と医療機器設計のノウハウは良く似ており、医療機器関連企業に3年連続で内定している。

✪ 5. 学生支援

評価 3.6

- ・評価項目「進路・就職に関する支援体制は整備されているか」
→志望する会社で何をしたいかを明確にさせ、学生1人1人にあった就職指導を行っている。
→就職希望学生の約7割が第1希望の会社から内定を頂いている。
→同じキャンパスに「日本航空高等学校石川」があり、職業教育等、連携が強い。

★6. 教育環境.

評価 3.5

- ・課題意見「学生数の増加により、教室が不足気味である」
→高校校舎の製図室ドラフターを撤去し、教室を一つ新設した。

★7. 学生の受入れ募集.

評価 3.6

- ・評価項目「学生募集活動は、適正に行われているか」
→2020年度の入学数249名に比べると2021年度は約40人減少。特に航空ビジネス科に影響が出ている。航空工学科はドローン教育が加わり好調で、前年度39名に対して新年度42名になる。
- ・課題意見「オープンキャンパス参加者を更に入学に結び付けていきたい」
→高校生にとって一番話しやすいのは学生であり、より話す機会を設ける。

★8. 財務.

評価 3.6

- ・学校経営について
→日本航空学園は本部で取りまとめて経営している。

★ 9. 法令等の遵守.

評価 3.9

- ・評価項目「自己評価の実施と問題点の改善に努めているか」
→年度末に大学教職員による自己評価アンケートを実施し、集計している
- ・評価項目「自己評価結果を公開しているか」について
→ホームページで公開している。

★ 10. 社会貢献・地域貢献.

評価 3.8

- ・今までボランティアで行っていた所もイベント自体が中止になっている
→学生は校舎、寮、食事が同じ場所なので、対策には細心の注意が必要。

★ 11. 国際交流.

評価 3.5

- ・課題意見「ホームページが日本語表記しかない」
→英語のパンフレットを作成し、ホームページにも公開している。